

開講年度：2026

科目名	医学部新入生ゼミナール Fresher's Seminar	題目（副題）	※講義室は学部からの連絡に従ってください。
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 他	5821	
学年、講義期間、曜日・時限	1 年	前期	月曜・4 時限
単位数、講義室	2 単位	医学科第2実習室 医学科第1実習室 保健学科221講義室 保健学科222講義室 保健学科223講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔ 授業達成目標
	M26カリ・医学、M25カリ・医学、M24カリ・医学、M23カリ・医学		
	≪対人関係形成・協働力≫患者やその家族と十分な医師の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。	⇔	対象者やその家族、医療チームの関係者などと協調的なコミュニケーションをとっていくための要点について理解する。
	≪プロフェッショナルリズム≫温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。	⇔	より良い保健・医療・福祉のあり方をグループワークを通して考えることで、温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。
臨床実習前の到達目標	・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・チーム医療の意義を説明できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。 ・医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	第1回から第3回は、各専攻独自のプログラムによって、新入生に対するオリエンテーションや早期体験学習等を行います。第4回から第15回は、お互いの専門領域や将来のチーム医療に関する理解を深めるために、医学科・保健学科の合同演習として、保健・医療・福祉に関連したテーマに関するグループワークを行います。グループワークは、約260名を40のグループに分け、「より良い保健・医療・福祉のあり方」という課題に基づいて、グループごとのテーマを設定し、それに関連する情報を集め、それらを題材として自分たちの意見を織り交ぜながら、現状の問題点と今後の課題について討論を行い、その結果を全グループがパワーポイントで発表します。 医学科・保健学科の合同演習は、第2実習室、保健学科の111講義室、121講義室、211講義室、221講義室、222講義室等の講義室に分かれてグループワークを行います。 詳細については、別途配布する「令和7年度医学部新入生ゼミナール 履修学生の手引き」を参照してください。 本授業は、担当教員の医療機関における医療専門職者としての実務経験を生かして行われます。		
授業の概要・一般目標	1) 大学生活の送り方、大学生として主体的に学ぶことの意義と方法を理解した上で、履修計画を具体的に立案することができる。 2) 各自が興味を抱くより良い保健・医療・福祉のあり方についての情報を主体的に収集・整理することによって、能動学習の意義と方法について理解し、その要点について説明することができる。 3) グループディスカッションを通じて、自身の意見を論理的に他者に説明するスキルを高めるとともに、他者の意見を尊重した協調的な議論を行うことができる。 4) 保健・医療・福祉に関連した共通のテーマについてグループディスカッションを行うことにより、対象者中心型の医療の重要性について理解を深め、その内容について説明することができる。 5) 専攻を超えた合同演習を通して、お互いの専門領域や将来のチーム医療に関する理解を深め、そこで学んだ内容について説明することができる。		
テキスト、教材、参考書	各自の情報収集とグループワークでの討論が基本となるため、教科書や参考書はありません。各自が考える「より良い保健・医療・福祉」に関する情報を、図書館や電子ジャーナル等から収集し、それらの内容を整理・統合して、グループディスカッションを展開していただきます。		
履修上の注意	医学科・保健学科の合同演習としてのグループワークでは、他者の意見、資料の内容等を考慮して、積極的に自分の意見を述べるとともに、グループとしてのまとまりを構築することができるよう協調的なコミュニケーションの取り方を意識していただきます。また、「より良い保健・医療・福祉」に関して、自身が関心をもったテーマについては、医学部図書館や文献データベースにおける学術論文、インターネット上の情報、新聞など		

履修上の注意	から、自身が検索・収集し、その内容について端的にまとめたものをグループワークの中で発表し合うことによって、グループテーマやその構成要素を検討していくよう努力してください。 グループワークでは、「Googleスライド」で資料を共有しながら討論を進めていきますので、各自でノートパソコンを持参してください。 10グループごとに担当教員を1名配置しますが、担当教員の役割は、基本的に討論が行き詰まった時にのみ簡単な助言をすることであり、討論の牽引者ではないという点について理解しておいてください。
授業の形式、視聴覚機器等の活用	第1回～第3回は、医学科では対面・オンライン併用で行います。各回の実施方法についてはガイダンスとe-ALPSで説明します。 第4回以降の手引きについては4月下旬を目途にe-ALPSで周知します。
成績評価の方法	①合同演習における自己学習レポート、②グループワークの成果物の提出、③グループワーク成果物に対する10グループ単位での学生同士の相互評価、④グループワークの成果物に対する教員の評価に基づいて総合的に評価します。
成績評価の基準	1. 自己学習資料（①・②・③）の提出（10点×3＝30点） 2. グループワークの成果物の提出（30点） 3. グループワーク成果物に対する10グループ単位での学生同士の相互評価 （1位：10点、2位：9点、3位：8点、4位：7点、5位：6点、6位：5点、7位4点、8位：3点、9位：2点、10位：1点） 4. グループワークの成果物に対する教員の評価 各発表ユニットの担当教員が、本演習の学習目標への到達度、発表内容の分かりやすさや議論の深さ、そして、独自性などを基準として、各10グループに対して、評価点をつけます（0点～30点）。 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	【事前学習】 シラバスおよびオリエンテーションの内容を参考にして、事前に自身が興味を持った「より良い保健・医療・福祉」に関連する資料等を収集・整理し、グループ内で発表・討議できるよう準備を進めてください。 【事後学習】 グループワークにおいて疑問に感じた点や分からなかった点について、文献等を参照して整理して、各自で取りまとめていくようにしてください。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間60時間（4時間×15回）＝90時間
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	合同演習では、他者の意見、資料の内容等を考慮して、積極的に自分の意見を述べるとともに、グループとしてのまとまりを構築するよう協調的なグループワークに努めてください。 また、「より良い保健・医療・福祉」に関して自身が関心をもったテーマについては、医学部図書館や文献データベースにおける学術論文、インターネット上の情報、新聞などから、自身が検索・収集し、その内容について端的にまとめたものをグループワークの中で発表し合うことによって、グループテーマやその構成要素を検討していくよう努力してください。 なお、時間内に終わらなかった場合、適宜グループで集まって作業するように取り組んでいってください。 担当教員の役割は、基本的に討論が行き詰まった時にのみ簡単な助言をすることであり、討論の牽引者ではないという点について理解しておいてください。 質問、連絡、相談など： 医学教育研修センター 森淳一郎（jimori@shinshu-u.ac.jp） 保健学科 看護 五十嵐久人(higaras@shinshu-u.ac.jp) 検査 松田和之 (kmatsuda@shinshu-u.ac.jp) 理学 青木 薫 (kin29men@shinshu-u.ac.jp) 作業 杉山暢宏 (nsugi@shinshu-u.ac.jp)